

決算早期化を実現する実務ノウハウとポイント

～決算が遅れる根本原因を把握し、経理業務を効率化させる方法～

□日 時：平成30年 8月30日 (木) 10:00～17:00 (6H)

□講 師：武田公認会計士事務所 所長
公認会計士

武田雄治氏

□会 場：本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主 催：一般社団法人 日本経営協会

□開催にあたって

働き方改革への社会的要請が高まる一方、経理部門における決算早期化・効率化を実現している企業は今も多くはありません。人手不足が常態化し、特に間接部門である経理部門の増員は厳しい状況にあるなかで、決算早期化・効率化等を課題とは認識しているものの、具体的に何から始めれば良いのかわからないという企業も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、監査する側とされる側の両方の経験を持ち、これまで上場企業40社以上の決算早期化・効率化を実現させてきた講師が、その体験に基づき、決算早期化・効率化を達成する「経理部の仕組みづくり」の方法と成功事例を紹介いたします。そのうえで、ベテラン担当者による属人化を排除する方法や、経理部を会社の中核部門＝司令基地となる『真の経理部』に進化させる方法についても解説いたします。

講師紹介

武田公認会計士事務所 所長
公認会計士

武田雄治氏

大手監査法人、東証上場企業の財務経理部門に勤務の後、2005年に独立。現在、武田公認会計士事務所所長。「経理を変えれば会社は変わる」の信念のもと、多くの上場企業の会計コンサルティングを行い、経営者・経理担当者から圧倒的な支持を受けている。特に、決算早期化、IFRSの分野では第一人者と称され、上場企業40社以上の決算早期化プロジェクトを支援。また、これまで指導してきた決算早期化セミナーでは多くの参加者が「目から鱗が落ちた」と絶賛、自身のブログ『CFOのための最新情報』は月間のべ10万人以上に閲覧されている。主な著書は、『決算早期化が実現する7つの原則』(中央経済社)、『先行開示事例から学ぶIFRS導入プロジェクトの実務』(中央経済社)、『社長のための1年で会社を黒字にする方法』(日本実業出版社)など多数。

■ 申込要領 ■

参加料：
(1名につき)

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送又はFAXにて下記へお申込みください。追って、参加料と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者までお送りします。

参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。
(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください)

- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 電話では、ご予約のみ承ります。(後日、必ず申込書をご送付ください)
- 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

キャンセルについて

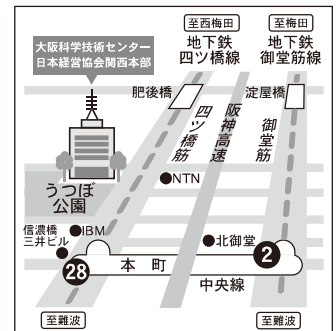
開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日まで連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

- その他：
- 教材は原則として当日お渡しいたします。
 - ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
 - 録音・録画・写真撮影は原則としてお断りいたします。
 - 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <http://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

<会場案内図>



□プログラム□

1. 決算早期化を実現している会社の特徴

- (1) 単体決算の特徴
- (2) 連結決算の特徴
- (3) 開示業務の特徴
- (4) 会計監査の特徴
- (5) その他の特徴

2. 決算早期化を達成できない原因と解決策

- (1) 決算早期化を阻害するボトルネックとは
- (2) 決算が全体的に遅い会社の原因と解決策
- (3) 単体決算が遅い会社の原因と解決策
- (4) 連結決算が遅い会社の原因と解決策
- (5) 開示業務が遅い会社の原因と解決策
- (6) 会計監査に時間がかかりすぎている会社の原因と解決策

3. 決算早期化を実現する

「経理・決算の仕組み」の作り方

- (1) 経理部は価値ある情報を出荷する「情報製造業」である。
- (2) 決算早期化達成企業の経理部の在り方
- (3) 経理部の在り方と決算早期化の関係
- (4) 経理部の「7つの業務」からみる決算が遅延する根本的な原因

4. 決算早期化を実現するアウトプット事例

- (1) アウトプット資料の見直し、効果
- (2) アウトプット資料の他社事例
- (3) 決算早期化を実現するための財務分析の方法
- (4) 財務分析の事例紹介

5. 決算早期化を実現する

「決算業務のマグドナルド化」

- (1) マグドナルドは究極の早期化モデル
- (2) 決算早期化達成企業の経理部の人材と人材育成方法
- (3) マグドナルド化後の業務分担

6. 質疑応答

※ 当日、サブテキストとして講師著『「経理の仕組み」で実現する決算早期化の実務マニュアル《第2版》』（中央経済社）を差し上げます。

(4)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (佐々木) 宛

NOMA	「決算早期化を実現する実務ノウハウとポイント」参加申込書 (1154)	H30. 8/30 32,400/37,800
(フリガナ) 会社名： 団体名	TEL () - FAX () -	ご派遣責任者：
(フリガナ) (〒) 所在地：		所属・役職：
参加者氏名	所属・役職名	●お支払い方法 } 通信欄 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> その他
(フリガナ)	(フリガナ)	
(フリガナ)	(フリガナ)	
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 }		ご請求先 (ご担当) (ご所属)

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
 ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要